

歴史的風致維持向上計画に対する意見・提案に関する対応について

平成26年2月25日現在

○第4章 長野市の歴史的風致の維持及び向上に関する方針

No.	意見要旨	考え方	対応
1	・課題として、少子化による伝統的な祭礼等の担い手不足が本計画に記載されているが、この課題を解消するための事業が必要ではないか。	・本計画の重点区域内には、地域の方によって大切に伝えられてきた無形の歴史的祭礼や伝統行事がありますが、少子化による担い手不足のため保存・継承が危ぶまれているものもあります。この課題の対応策として、無形文化財、無形民俗文化財に指定した祭礼等は「無形文化財支援事業」を実施していますが、未指定の祭礼等については、今後検討していきます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
2	・「水路と庭園に見る松代城下町の歴史的風致」である松代地区の泉水路は、流量の減少等により失われつつあるが、対応策は。	・松代城下町の貴重な歴史的風致を構成している水路・庭園の維持及び保存は、歴史的風致を維持向上する上で重要と考えています。対応策として、「小鮎川改修事業」、「伝統環境保存事業」及び「松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業」を実施しており、所有者の同意を得られた庭園については登録記念物(名勝地)による保存を進めています。なお、流量の減少に対する対応策については、今後、所有者の方や地域の方と協議しながら検討していきます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
3	・「歴史的まちなみと周辺環境の保全」に関し、「歴史的まちなみの外にアクセス駐車場を整備し既存の交通体系を検討する」ことについて、松代地区における具体策は。	・歴史的まちなみへの自動車流入を抑えることは、歴史的風致の維持向上のためには重要と考えています。現在、松代地区住民自治協議会により「松代地区振興計画」の策定作業が行われていますので、その結果を注視するとともに地域の方と協議を重ねながら、具体策を検討していきます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
4	・善光寺周辺は、観光地でありながら車の流入が多く、観光客が安心して歩けないため、交通網を見直し、自動車抑制対策が必要ではないか。	・歴史的まちなみへの自動車流入を抑えることは、歴史的風致の維持向上のためには重要と考えています。今後関係部局と協議し、具体策を検討していきます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。

○第6章 文化財の保存及び活用に関する事項

No.	意見要旨	考え方	対応
1	・象山地下壕については、「観光施設」の位置づけで観光課が管理しているが、鉄骨の通路が作られる等により、本来の形状が失われつつあるため、文化財として、往時の形状を保存すべきではないのか。	・指定文化財にかかわらず、歴史的建造物を後世に保存・継承していくことは、歴史的風致の維持及び向上するために重要であると考えています。象山地下壕については、観光振興課で管理し、訪れた方に安全に内部を公開する方法として、やむを得ず通路に鉄骨を組む等の措置しているものであり、できる限り往時の姿を後世に継承しながら保存するよう努めたいと考えています。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。

No.	意見要旨	考え方	対応
2	・文化財には指定されていない白髯神社社務所、鬼無里神社拝殿、諏訪神社拝殿、同神楽殿等の老朽化が激しいため、修理を検討しているが、修理に対する市の支援は受けられないか。	・白髯神社、鬼無里神社、及び諏訪神社の本殿や拝殿等は、鬼無里地区にみられる歴史的風致を形成する重要な建造物として考えていますが、いずれの神社も文化財に指定されている建造物は本殿のみであることから、現状は支援が難しい状況です。なお、未指定文化財については、神社の境内のみではなく、その周辺を含めた歴史的町並みを保全していく場合に、支援が得られる可能性があります。とはいえ、町並み保全は、町並み形成のルールを住民が主体となって策定していくことになるため、町並み保全に対する地域の熱意と合意形成が不可欠となります。今後の方向性については、地元の方々と相談しながら検討していきます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
3	・白髯神社、鬼無里神社及び諏訪神社で使用されている祭礼用具について、老朽化により修理を検討しているが、修理に対する市の支援は受けられないか。	・白髯神社、鬼無里神社及び諏訪神社を舞台に、地域の方によって大切に伝えられてきた歴史的祭礼や伝統行事は、鬼無里地区の歴史的風致を形成する重要なものと考えています。なお、これらの祭礼で使用されている祭礼用具の修理については、文化芸術振興費補助金(文化庁)やコミュニティ助成事業((財)自治総合センター実施事業)等の活用を検討していただきたいと考えています。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。

○第7章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

No.	意見要旨	考え方	対応	
1	N2 歴史的資源活用 コーディネーター派遣 活用事業	・鬼無里神社の祭礼に使用する屋台(山車)の老朽化診断、又は古文書の解読について、専門家に依頼したいと考えているが、市の支援は受けられるか。	・鬼無里神社の歴史的祭礼に使用される屋台(山車)は、歴史的風致を形成する重要なものと考えています。専門家による老朽化の診断が必要な場合には、「歴史的資源活用コーディネーター派遣事業」により支援を検討します。なお、古文書の解読については、地元の皆様にお願ひしていますが、資料の整理方法等について専門家の意見が必要な場合は、専門家の派遣を検討します。	2 計画に盛り込まれており、修正しない。
2	ZT1 善光寺周辺地域道路 美装化事業	・善光寺周辺の院坊通りの道路美装化は、周辺の歴史的建造物と調和した景観を形成し、歴史的風致の維持向上を図るためには重要と考えており、事業実施に向けて、地元組織の「善光寺周辺地域まちづくり協議会」と協議しながら進めていますが、基本的には石畳舗装を想定しています。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。	
3	MK13 北国街道松代道周辺 文化財等周遊道路 整備事業	・旧長野電鉄屋代線跡地の整備については、若穂川田地区だけでなく、若穂地区全体で整備構想を練る必要があるのではないかと。	・本計画の重点区域における若穂地区の区域は、若穂川田地区のみを含みますが、重点区域外についても周遊道路整備が実施されることから、担当部局と連絡を密にしながら実施していきます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
4	MK16 旧信濃川田駅保存 活用事業	・地元では、川田宿の歴史を伝える資料館及び観光案内拠点にすることで加えて、長野電鉄の歴史を伝える資料館とする要望もしている。担当部局間での調整をお願いしたい。	・旧信濃川田駅舎の保存及び活用は、若穂川田地区の歴史的風致を維持向上するためには重要と考えています。今後、担当部局において地元の方と協議するとともに、関係部局間で連絡を密にしながら事業を進めます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。

No.	意見要旨		考え方	対応
5	MK16 旧信濃川田駅保存 活用事業	・事業期間が平成27年度までというのは短すぎるのではないかと。	・平成27年度までの事業完了を目指し実施しますが、事業の進捗状況等により必要に応じて、事業期間を延伸します。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
6	MK20 川田宿PR活用事業	・ガイドマップの作成等の経費について、市の支援はないのか。	・川田宿ガイドの会の活動は、若穂川田地区の歴史的風致を維持及び向上するための重要な活動と考えています。現在は、活用可能な支援事業がありませんが、今後の国等の動向を注視し、支援について研究していきます。	3 今後の取組みにおいて検討又は参考とする。